

大阪凌霜クラブ歴史講演会

「兵庫・神戸歴史探訪」

講師 神木哲男 (33E)

(神戸大学名誉教授)

「歴史講演会」再開第1弾、神木先生の「兵庫・神戸歴史探訪」(3回シリーズ)を下記の通り開催いたします。奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

○開催日時：第1回 4月28日 第2回 5月26日 第3回 6月23日

各月第4水曜日 14:00~15:30

○場所：大阪凌霜クラブ

○会費：2000円/回 オンライン聴講 1500円/回

○参加申し込み：大阪凌霜クラブ ☎ 06・6345・1150 ✉ osaka.ryoso@gmail.com

【講演内容】

兵庫・神戸の歴史は、港の歴史を抜きにしては考えることはできません。平清盛の時代には日宋貿易の拠点になり、清盛は早くからここに住み、都も移しました。中世には東大寺が関所を設け「兵庫北関入船納帳」という徴税簿を残しています。近世になると北前船の寄港地、全国の物資の集散地として高田屋嘉兵衛や工楽松右衛門を生みました。近代は国際貿易港として大きな役割を果たし現在に至っています。古代から近代に至る兵庫・神戸の歩んだ跡をみなさんとご一緒に訪ねてみましょう。

第1回 古代・中世：平清盛は極悪非道か、「兵庫北関入船納帳」の語るもの

第2回 近世：兵庫津と北前船、高田屋嘉兵衛、工楽松右衛門

第3回 近代・現代：外国人居留地、鈴木商店、そして「山、海へ行く」